

## 北九州市社会福祉協議会 福祉教育推進に関する協力団体一覧 (順不同)

北九州市社協が実施する「ふくし教育プログラム(ふくしの出前授業)」の内容は、下記の団体との協働で作成しました。

出前授業の実施の際も一緒に取り組んでいただき、子どもたちの「ふくしの心」を育む活動にご協力いただきます。

公益社団法人 北九州高齢者福祉事業協会

北九州市障害福祉団体連絡協議会

一般社団法人 先天性ミオパチーの会

北九州市教育委員会

公立大学法人 北九州市立大学

株式会社ギラヴァンツ北九州

東戸畑地区社会福祉協議会



## 北九州市立大学福祉教育サポーターのご紹介

「ふくし教育プログラム(ふくしの出前授業)」で活用する福祉教育教材(ビンゴ・すごろく)や事前学習・事後学習シートは、北九州市立大学地域創生学群の福祉教育サポーター(学生ボランティア)が作成しました。



お申込み・お問合せ先

北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課  
(ボランティア・市民活動センター)

〒804-0067

福岡県北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた3階

TEL 093-881-0110 FAX 093-881-9680

<https://kitaq-shakyo.or.jp> 北九州市社協

お申込みは  
こちらから



申込書は  
こちらから  
ダウンロード  
できます。



(令和6年6月発行)

北九州市社会福祉協議会が取り組む

小・中学生向け

# 「ふくしの出前授業」

のご案内



## 目次

|                    |   |
|--------------------|---|
| 社協への申込みから実施までの流れ   | 1 |
| ① 「ふくし」ってなんだろう?    | 2 |
| ② 「年を取る」ってどういうこと?  | 3 |
| ③ 「障害がある」ってどういうこと? | 4 |
| ④ 寄付と募金のはなし        | 5 |
| ⑤ やってみよう! ボランティア活動 | 6 |

ふれあいネットワーク

社会福祉法人  
北九州市社会福祉協議会



プチボザウルス

## はじめに

福祉はその単語の頭文字を使って「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」と紹介されることがあります。

社会福祉協議会(社協)では、子どもたちが自分の住んでいる地域の福祉環境について知り、みんなにとっての「ふだんのくらしのしあわせ」を考える中で、思いやりの心や相手を理解しようとする豊かな心を育てていくことを目的とし、「ふくし教育プログラム(ふくしの出前授業)」を作成しました。

このプログラムは、学校と社協や協力団体、地域が連携して子どもたちの「多様性を認め合う力」を醸成していくためのツールです。

プログラムの実施に際しては、総合的な学習の時間の中で取り組むことができるよう、実施時期やご希望内容などを先生方と打合せながら進めていきます。どうぞお気軽にご相談・お申込みください。

### 社協への申込みから実施までの流れ

#### 1 社協への申込み

※まずは、お電話にてご相談ください。

- 申込書(社協ホームページからダウンロードできます)にご希望のプログラム番号とメニュー番号、開催時期、人数等を記入の上**1ヶ月前まで**にお申込みください。
- 実施内容について、「こんな風にカスタマイズさせたい」といったご要望がありましたら、遠慮なくお聞かせください。

#### 2 学校と社協の担当者、協力施設、講師等との打合せ

- 授業の具体的な内容、必要な時間数、使用機材等について打合せを実施します。

#### 3 学校内における事前学習

- 事前学習シートを社協から提供しますので、ご活用ください。

#### 4 「ふくし教育プログラム(ふくしの出前授業)」実施当日

#### 5 学校内におけるふりかえり

- 事後学習シートを社協から提供しますので、ご活用ください。
- 児童・生徒や先生方の感想をぜひ社協へ教えてください。

### お申込みにあたって

- 小学校や中学校のクラス・学年等の単位でお申込みできます。
- 会場は学校側でご準備をお願いします。
- 各メニューの所要時間は、小学校45分(中学校50分)を基本とします。
- 費用は無料です(プログラム3のメニュー2を除く)。  
ただし、ゲストティーチャーの交通費等をご負担いただく場合があります。
- 実施希望日の**1ヶ月前まで**にお申し込みください。
- 申込人数に制限はありませんが、メニューによっては事前に調整させていただく場合があります。
- できる限りご希望の日程で調整させていただきますが、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

## プログラム 1

## 「ふくし」ってなんだろう?

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを考えよう～

### 学習のねらい

みんなが安心して暮らせるために、どんなしくみや工夫があるのかを知り、自分や自分以外の人のしあわせを実現するためにできることは何かを考える。

### 対象学年

小学3年生～6年生、中学1年生～3年生

### 講師

北九州市社会福祉協議会職員



### 授業メニュー

| メニュー番号 | 内容                                                                                                            | 所要時間           |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ふくし」について考える</li> <li>● 大学生が作成した福祉教育教材(ビンゴやすごろく)で学ぶ</li> </ul>       | 45分間<br>(50分間) |
| 2      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● バリアフリーやユニバーサルデザインについて学ぶ</li> <li>● 身近なユニバーサルデザインの商品に触れてみる</li> </ul> | 45分間<br>(50分間) |

※メニュー1や2に加え、自分たちの住むまちの使いやすく工夫されているところを見つける校外学習等を組み合わせることもできます。

### 関連教科(例)

|     |      |     |                                                                                                                     |
|-----|------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小学生 | 《社会》 | 3年生 | [大単元1] わたしたちのまちと市 [小単元1] まちの様子「自分の家やよく行く場所はどこにあるの」                                                                  |
|     |      | 6年生 | [大単元1] ともに生きる暮らしと政治 [小単元2] わたしたちの暮らしを支える政治「わたしたちの暮らしと社会の課題」                                                         |
|     | 《道徳》 | 4年生 | 「とびらの前で」                                                                                                            |
| 中学生 | 《社会》 | 3学年 | [公民]<br>第1章 1節 私たちが生きる現代社会「③誰もが活躍できる社会へ」<br>第2章 2節 憲法が保障する基本的人権「③ともに生きる社会の実現へ」<br>第5章 1節 暮らしを支える社会保障「④暮らしやすいまちづくりへ」 |
|     | 《道徳》 | 1学年 | 「あったほうがいい?」                                                                                                         |
|     |      | 3学年 | 「No Charity, but a Chance!」                                                                                         |

プログラム  
2

## 人ごとなんかじゃない! 「年を取る」ってどういうこと?

学習のねらい

加齢による身体の変化だけでなく、いきいきと暮らす高齢者の生活の様子とその人が持つ知識や経験を知ること、相手を敬う気持ちを育み、思いやりのある行動について考える。

対象学年

小学3年生～6年生、中学1年生～3年生

講師

北九州高齢者福祉事業協会の施設職員、キャラバンメイト、ゲストティーチャー



### 授業メニュー

| メニュー番号 | 内容                                                          | 所要時間           |
|--------|-------------------------------------------------------------|----------------|
| 1      | ● 高齢者福祉施設で働いている人のお話を聞く<br>● 加齢による身体の変化を体験してみる               | 45分間<br>(50分間) |
| 2      | ● 認知症についての理解を深める<br>(子ども向け認知症サポーター養成講座)                     | 45分間<br>(50分間) |
| 3      | ● いきいきと生活している高齢者のゲストティーチャーからお話を聞く<br>● 授業をふり返って自分にできることを考える | 45分間<br>(50分間) |

※メニュー1or2はメニュー3と組み合わせて実施することを基本とします。

※メニュー1or2は単独で申込みできますが、メニュー3のみでの申込みは受付けていません。

### 関連教科(例)

|     |      |     |             |
|-----|------|-----|-------------|
| 小学生 | 《道徳》 | 3年生 | 「バスの中で」     |
|     |      | 6年生 | 「母の仕事」      |
| 中学生 | 《道徳》 | 1学年 | 「ばあば」       |
|     |      | 2学年 | 「名乗り出なかった友」 |



プログラム  
3

## 人ごとなんかじゃない! 「障害がある」ってどういうこと?

学習のねらい

障害がある人から生活の様子を聞くことで、障害があっても自分らしい生き方ができるということを理解するとともに、どんなところに不便を感じているかを知り、自分たちにできることを考える。

対象学年

小学3年生～6年生、中学1年生～3年生

講師

北九州市障害福祉団体連絡協議会、ギラヴァンツ北九州、先天性ミオパチーの会、ゲストティーチャー



### 授業メニュー

| メニュー番号 | 内容                                                                 | 所要時間           |
|--------|--------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1      | ● 北九州市障害福祉団体連絡協議会による障害体験学習                                         | 45分間<br>(50分間) |
| 2      | ● ギラヴァンツ北九州によるブラインドサッカー体験<br>※対応できる件数に限りがあります。また、講師派遣等の費用が掛かります。   | 45分間<br>(50分間) |
| 3      | ● 病気や障害があっても、いきいきと生活しているゲストティーチャーからお話を聞く<br>● 授業をふり返って自分にできることを考える | 45分間<br>(50分間) |

※メニュー1or2はメニュー3と組み合わせて実施することを基本とします。

※メニュー1or2は単独で申込みできますが、メニュー3のみでの申込みは受付けていません。

### 関連教科(例)

|     |      |      |                                                                                                                     |
|-----|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小学生 | 《社会》 | 6年生  | [大単元1] ともに生きる暮らしと政治 [小単元1] 憲法とわたしたちの暮らし「だれもが使いやすいまちに」<br>[大単元2] 日本の歴史 [小単元11] 平和で豊かな暮らしを目指して「東京オリンピック・パラリンピックが開かれる」 |
|     |      | 《道徳》 | 3年生<br>「やさしさのバトン」<br>4年生<br>「ええことするのは、ええもんや!」                                                                       |
| 中学生 | 《社会》 | 3学年  | [歴史]<br>第6編 第2節 冷戦下の世界と経済大国化する日本 「歴史を掘り下げる オリンピック・パラリンピックの歴史」                                                       |
|     |      | 《道徳》 | 2学年<br>「最後のパートナー」                                                                                                   |

## 寄付と募金のはなし

### 学習のねらい

自分の思いをお金や物で第三者に託す「寄付」という行為や、赤い羽根共同募金のしくみなどを学び、自分たちの住む地域を良くするためにできることを考える。

### 対象学年

小学3年生～6年生、中学1年生～3年生

### 講師

北九州市社会福祉協議会職員



### 授業メニュー

| メニュー番号 | 内 容                                                                                                                            | 所要時間 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●赤い羽根共同募金などの募金活動や寄付付き商品についてのお話</li> <li>●おもちゃのお金を使って寄付の体験を試みる</li> </ul>                | 45分間 |
| 2      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●赤い羽根共同募金などの募金活動や寄付付き商品についてのお話</li> <li>●クラウドファンディングやふるさと納税を財源とした「ふくし」の活動を知る</li> </ul> | 50分間 |

※メニュー1は小学生、メニュー2は中学生が対象です。

### 関連教科(例)

|     |      |     |                                                           |
|-----|------|-----|-----------------------------------------------------------|
| 小学生 | 《社会》 | 6年生 | [大単元1] ともに生きる暮らしと政治 [小単元1] 憲法とわたしたちの暮らし「税金のはたらき」          |
| 中学生 | 《社会》 | 3学年 | [公民]<br>第3章 私たちの暮らしと民主政治 3節 地方自治と住民の参加<br>「地域の暮らしを支えるために」 |



## やってみよう! ボランティア活動

### 学習のねらい

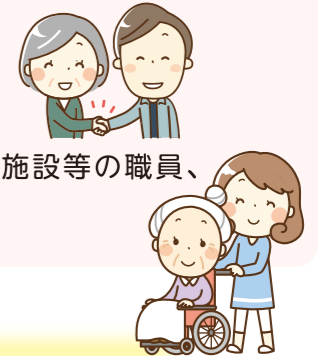
ボランティア活動は、地域や社会をよりよくしていくことに役立つことを学ぶとともに、活動者の話を聞くことで、自分自身も豊かにしてくれる力があることを知り、ボランティアに取り組むきっかけをつくる。

### 対象学年

小学3年生～6年生、中学1年生～3年生

### 講師

北九州市社会福祉協議会職員、社会福祉施設等の職員、ゲストティーチャー



### 授業メニュー

| メニュー番号 | 内 容                                                                                                                | 所要時間           |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティア活動やウェルクラブ活動についてのお話</li> <li>●ボランティア活動をしているゲストティーチャーによるお話</li> </ul>  | 45分間<br>(50分間) |
| 2      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉車両(シルバーひまわりサービス送迎車両)の見学</li> <li>●ボランティア活動をしているゲストティーチャーによるお話</li> </ul> | 45分間<br>(50分間) |
| 3      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●施設等でのボランティア活動体験や交流(オンライン含む)</li> </ul>                                     | 45分間<br>(50分間) |

※メニュー1or2は単独で申込みできますが、メニュー3のみでの申込みは受付けていません。

### 関連教科(例)

|     |      |     |                                                                                         |
|-----|------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 小学生 | 《社会》 | 4年生 | [大単元3] 自然災害にそなえるまちづくり [小単元] 地震にそなえるまちづくり「地域にくらす人々のそなえを調べよう」                             |
|     |      | 5年生 | [大単元5] 国土の自然とともに生きる [小単元2] 森林とともに生きる 「森林を守るためにできることは」、[小単元3] 環境をともに守る「きれいな環境を、次の世代のために」 |
|     | 《道徳》 | 4年生 | 「ネコの手ボランティア」                                                                            |
| 中学生 | 《社会》 | 5年生 | 「サタデーグループ」                                                                              |
|     |      | 6年生 | 「心づかいと思いやり」                                                                             |
|     | 《道徳》 | 2学年 | 「行動する建築家 坂 茂」、「避難所にて」                                                                   |